

単語	意味付け	参考単語	各県	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
45	「…を武器に…」の武器	①戦いに用いる種々の道具や器具。刀や銃などの、敵を攻撃したり自分を守ったりするための兵器や武器。 ②何かをするための有力な手段となるもの。(例:「弁舌を武器にする」など) ※今回は、特に②について検討してください。	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ● 保 ア △ ア ○ ●	<考える>→<方法> 「最高」+「良い」+「方法」+左手を指さす 指文字「ヤ」の親指側を下から鼻先に付ける 胸から手のひらを出す 「効果」に同じ。 「倒す」+「方法」 左掌を右手でつかんだ状態で/表現/の動き 手話「秘密」+手話「方法」	保存手話	相手に「打つ手なし」と思わせるくらいの、強力な決め手となる。 →ろう者の間で使われている表現はないか？ →打つ手なし、と思わせる決め手といえば、水戸黄門の「印籠」 ⇒水戸黄門の印籠を示す動作
46	青天の霹靂	思いがけず起こった衝撃的なことや驚くようなこと。 「青天」は「晴れわたった空」を、「霹靂」は「雷」「雷鳴」を意味する古い表現。	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	△ ○ ○ ア △ 保 ○ ●	<突然> 「変化」+「驚嘆」(ゆっくり前に出る) 言葉通りに表す。「青」+「天」+指文字「へきれき」 頭が突然 「突然」に同じ。 びっくり 左手で/晴れ/ + 右手/雷/ 手話「突然」+手話「変わる」	△ ラベル追加	文字通りに表現しても長くなり、意味が分かりづらい。 →意味を捉えた表現としたい。保存手話はないか？ →各班からの案では、突然である様を表す<いきなり>が多い。 ⇒<いきなり>にラベル追加。 ※北海道班・北信越班・東海班の案を採用
47	極意	学問や技芸などで、核心となる大切な事柄。 奥義。 (例:「極意を授かる」「極意を会得する」など)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ○ ◎ ● ● ● ● ●	<奥>→<大切> 「大切」+左掌の上に握った右手を一緒に前に出す 手を握った左腕を立てて、肘の下で開いた右手を回しながら握る 技+表す 「最高」+「大事」 「ひみつ」+「技術」 /プロ/ + /技術/ 手話「最高」+手話「意味」	組み合わせ	“極意”とは、つまるところ、“最高の技術” ⇒<最高>+<技術> ※東海班の案を採用 似たような語に“秘伝”がある。 →これは“秘密の技術”になる。 ⇒<秘密B・暗黙>+<技術>
48	置いてけぼり	本所(東京都墨田区)を舞台とした本所七不思議と呼ばれる奇談・怪談の1つで、全エピソードの中でも落語などに多用されて有名になった。置き去りを意味する「置いてけぼり」の語源とされる。	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	△ ◎ ア ● 保 保 ◎△ ア	<置く> 右手で左腕を払う 右手人差し指を開いた左手の手首辺りに置き、左手を前に出す(人が取り残される様子) ほったらかし+独りぼっち (AとB 2つの表現) 置きざりにする仕草 ひとりのけものけものにされる様子、排除 ①人差し指のみを立てた右手から4指を立てた離す②手話「邪魔に	保 保存手話	これは、“のけ者にする”表現がある。 →ただ、“置いてけぼり”には、①意図的にのけ者にする、②自然と置き去りになってしまった、の2つの場合がある。 →これらの意味に相当する表現は、保存手話でもある、“左側に向けて、両手く捨てる” ⇒左側に向けて、両手く捨てる ※北信越班・東海班の案を採用
49	フラッシュバック (flashback)	ふとしたシチュエーションで、過去の嫌な思い出やトラウマが蘇り、実際には今該当している状況ではなくても感情的なもので噴き出してくる。 例えば誰かに注意された時に、親に怒られた瞬間がオーバーラップしたり、何かのイベントに参加しようとした時に以前の失敗を思い出して足が動かなくなるなど。 これらの様に過去の嫌な経験が、なんらかのきっかけで鮮明に蘇り、感情まで書してしまう事をフラッシュバックという。	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	ア ○ ア ア ● ア ◎ ●	右くひ>を顔に当てる→<思い出す> 参考:トラウマ 「思い出」が開き+「再び」 右手人差し指を顔に当て、右手を握って開く 眼を握って顔を膨らます 「思いつく」+「苦しい」 「思い出す」を素早く表現 /過去/ + 目の前にババッと現れてくる様子 手話「過去」+手話「復活」	△ ラベル追加	これまでの経験や感情が思い出されること。 ⇒<思いつく・思い出す>にラベル追加 ※北海道班(2動作目)・東海班(1動作目)・近畿班の案を採用
50	情けない	①思いやりのない。無情である。すげない。 ②同情の余地がない。嘆かわしい。(例:「情けない成績に終わる」「優柔不断な自分が情けない」など) ③みじめである。見るにしのびない。(例:「すぶぬれの情けない姿」「情けない聲で訴える」など) ④無風流である。風情がない。	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	ア △ 保 ◎ 保 △ 保 ア	<人情>顔から離す 参考:役に立たない 「哀れ」と同じ(しかし、顔の表情は違う) 保留 指文字「な」を使って泣く 右手をおでこに充てる。 「みともない」 涙/+ 親指を下に下げる 左手で目をかくし、右手手話「悲しい」	保 保存手話	みじめであり、見るに忍びない。 →ろう者の間で使われている保存手話と書けば、“親指を下に向けて振る。” ⇒親指を下に向けて振る。 ※四国班の案を採用
51	だらしない	①きちんとしていない。整っていない。(例:「だらしないかっこう」「床にだらしない寝る」など) ②筋度がない。しまりがない。(例:「お金にだらしない人」「自分の子供のことになる全くだらしない」など) ③体力や気力がない。根性がない。(例:「このくらいでへたばるなんてだらしない」など)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	保 保 ア 保 保 ◎ 保 ◎ 保	<ダラダラする>→<くだらない> 両手をブラブラ(顔の表情に注意) 「不真面目」を敬語繰り返す 3つ(福井・富山・石川) 両手をぶらぶらさせる。 気がゆるむ様子、曲断 襟元に手をやり 左右に開きながら広げる 自分を指し、両手4指を下方に向けて振る。	保 保存手話	両手をぶらぶらする表現もあるが、一方で“指間を少し開けた両手2指(人差し指・中指)を鼻下から左右斜めに下ろす”表現もある。 →広い意味で使えるのは、後者。 ⇒指間を少し開けた両手2指(人差し指・中指)を鼻下から左右斜めに下ろす。 ※北信越班(富山)の案を採用
52	資質	生まれつきの性質や才能。資性。天性。(例:「両親の資質を受け継ぐ」「資質に恵まれる」など)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	△ ● ○ ア ア ● ア ア △	<質> 指文字「し」+「質」 「性格」+「癖」 指文字の「し」を「性格」の手話を表す 指文字「し」で質を表す 「自然」+「くせ」 /し/ の形で/性格/の動き 手話「性格」	○ 合成	これは、<才能>と同表現で良いか？ →例えば、「首相になれる資質」の例文では、<才能>はややそぐわない。 →<性格>や<質>も、やや意味が異なる。 →「資質」独自の表現が必要。 →指文字<し>と<質>の合成がしっくりくる。 ⇒指文字<し>で<質>の動作 ※北信越班・東海班・四国班の案を採用
53	意向	どうするつもりかという考え。心の向かうところ。思わく。(例:「相手の意向を確かめる」「意向にそろう努力する」など)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ● ア ● ● ア ● ●	<考える>→<目的> 「思う」+「方向」 右手人差し指で頭を指して(思う)から腹を指す(気持ち) 気持ち+方向 「思う」+「方向」 「思う」+「方向」 /意志/ + /方向/ 右手手話「言われる」+左手手話「考える」	△ ラベル追加	<考える>+<目的>や、<思う>+<方向>などがあるが、つまるところ、<考える>ということ。 ⇒<考える・思料>にラベル追加

単語	意味付け	参考単語	各県	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
1	案件 問題となっている事柄。審議しなければならない事柄。 (例:「重要案件」「緊急の案件から審議する」など)		北海道 東北 ● 「案」+「問題」 関東 ◎ 上に向けた左掌に右親指の指先を付け、前に弾く 北信越 ○ 頭から案+項目 東海 ● 案 + 件(指文字) 近畿 ア テーマにアレンジ 中国 ● 必要+案 四国 ○ Lは/案/ その腕に沿って R①で下を下ろしていく 九州 ● 手話「問題」+手話「協議」	ラベル追加	この言葉に、<案>の手話を使うのはそぐわない。 →「問題となっている事柄、審議しなければならない事柄。なので、<事>の手記良いのでは？」 →意味としては、<問題>のほうが、よりしっくりくる。 ⇒<問題>にラベル追加。 ※東北班(2動作目)・九州班(1動作目)の案を採用		
2	考案 工夫して考え出すこと。案出。くふう。 (例:「考案者」「新しいデザインを考案する」など)		北海道 東北 ● 「考える」+「案」 関東 ● 「考える」+「案」(こめかみに指文字「ア」を当てて前に弾く 北信越 ○ 考える+頭から案 東海 ● 工夫 + 案 近畿 ● 考える+案 中国 ● 工夫+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/考える/ 九州 ● 手話「考える」+手話「案」	組み合わせ	人差し指で、何かをひらめいた様子を表す手話として、<発明>がよく見られる表し →この表現のみで良いか？ →「工夫する」の意味もある。 ⇒<考える>+<発明>		
3	発案 ①案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。 (例:「旅行しようと発案する」など) ②議案を提出すること。 (例:「発案権」など)		北海道 東北 ● 「思いつく」+「案」 関東 ● 右手人差し指の指先をこめかみに当て弾く+「案」 北信越 ○ 6本の指を発明+頭から案 東海 ● こめかみに当ててから 案 近畿 △ アイデア 中国 ● 案+出す 四国 ○ Lは/案/ Rは/発明(II 61) / 九州 ● 手話「案」+手話「発出」	組み合わせ	これは、<案>の手話が必要になる。 →中国班や九州班の<案>+<出す(提出する)>が適している。 ⇒<案>+<土産(プレゼント)>(左手掌の上方に2指をつまんだ右手を置き同弧を描いて前に出す) ※中国班・九州班の案を採用		
4	腹案 前もって心の中で考えておくこと。また、その案や考え。 (例:「腹案を練る」「腹案したとおりに進める」など)		北海道 東北 ● (お腹の前で)「準備」+「案」 関東 ◎ 腹の前で「隠す・しまう」+「案」 北信越 ○ 自信+頭から案 東海 ● 腹 + 案 近畿 ● 内+案 中国 ● 心の中+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/腹/ 九州 ● 手話「準備」+手話「案」	組み合わせ	<腹>+<案>としても、いまいち意味が伝わらない。 →<腹>を指差して、お腹の中に何かがあることを示す表現はどうか？ →お腹に赤ちゃんがいるように見える。 →表現として適しているのは、東北班の(お腹の前で)<準備>+<案> ⇒(お腹の前で)<準備>+<案> ※東北班の案を採用		
5	妙案 非常によい考え。すばらしい思いつき。名案。 (例:「妙案が浮かぶ」「難局打開の妙案」など)		北海道 東北 ● 「良い」+「案」 関東 ● 「素晴らしい」+「案」 北信越 ○ 良い+頭から案 東海 △ 名案と同じ 近畿 ア すばらしい+案 中国 ● 立派+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/素晴らしい/ 九州 ● 手話「素晴らしい」+手話「案」	組み合わせ	<良い>+<案>と、<すばらしい>+<案>がある。 →多数決で<すばらしい>+<案> ⇒<すばらしい>+<案> ※関東班・近畿班・九州班の案を採用		
6	原案 もとになる案。特に、会議などに提出された、最初の案。 (例:「原案を一部修正する」「原案どおり可決」など)		北海道 東北 ● 「基本」+「案」 関東 ● 「基づく・元」+「案」 北信越 ○ 元+頭から案 東海 ア 元 + 計で案 近畿 ● 元+案 中国 ● 元+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/原(元) / 九州 ● 手話「基」+手話「案」	組み合わせ	「素案」「草案」と似て非なるもの。 →「もとになる案」なので、<基づいて・元>+<案>が適している。 ⇒<基づいて・元>+<案> ※東北班・関東班・北信越班・近畿班・中国班・九州班の案を採用		
7	試案 試みに立てた案。仮の計画や意見。		北海道 東北 ● 「試す」+「案」 関東 ● 「試す」+「案」 北信越 ○ 試し+頭から案 東海 ● 仮+案 近畿 ● 試す+案 中国 ● 例+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/試す/ 九州 ● 手話「試みる」+手話「案」	組み合わせ	これは、文字通りに<試す>+<案>となる。 ⇒<試す>+<案> ※東北班・関東班・北信越班・近畿班・四国班・九州班の案を採用		
8	草案 文章、特に規約、法律などの下書き、原案のことをいう。 (例:「草案を練る」など) 「草案」の「草」とは「木になる前の段階」から転じて、「本格的に行う前段階」を意味する。草稿、起草、詩草なども同じ用法の「草」。		北海道 東北 ア 「基本」の左手下に右手で「草」+「案」 関東 ◎ 左掌に右手指文字「ロ」を1回打ち付ける+小指側を下にして立てた左手の甲側で、右手で「下」を表す 北信越 ○ 前+頭から案 東海 △ 原案と同じ 近畿 ● 下+案 中国 ● 元+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/草/ 九州 ア 手話「過去」+手話「基」+手話「案」	組み合わせ	「素案」「原案」と似て非なるもの。 →文字通り、<草>+<案>が適している。 ⇒<草>+<案> ※四国班の案を採用		
9	答案 出された問題に対して書いた答え。 (例:「答案用紙」など)		北海道 東北 ● 「答」+「案」 関東 △ 「答え」に口形を付ける 北信越 △ 答え 東海 △ 答えと同じ 近畿 △ 答え 中国 △ 答え 四国 △ 答え 九州 ● 手話「答える」+手話「紙」	ラベル追加	つまるところ、<答え>と同様である。 ⇒<答える・報告>にラベル追加(A) ※関東班・北信越班・東海班・近畿班・中国班・四国班の案を採用 逆の動作で、答てもらう場合もある。 ⇒<答える>の逆動作(B)		
10	素案 原案になる前の、大もとの考え、案。まとまった案にする前のもっとざっくりとした状態のもの。 (例:「素案を示す」など)		北海道 東北 ● 「簡単」+「案」 関東 ● 「ほとんど・ほぼ」+「案」 北信越 ○ 基礎+頭から案 東海 ● 指文字「そ」+案 近畿 ア 基礎のソ+案 中国 ● 全て+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/「ソ」/ 九州 ● 指文字「ソ」+手話「案」	組み合わせ	「原案」「草案」よりも、もっと初歩的なもの。 →大もとになるものでもあり、何かのきっかけとなるものでもある。 ⇒<きっかけ>+<案>		
11	事案 問題あるいは問題にすべき物事。主に法的や政治的な問題として着目する出来事。 (例:「著作権の所在は、事案により異なる」など)		北海道 東北 ア 「事件」の左手+「案」 関東 ○ 「事」を表した左手人差し指に右手指文字「ア」の親指先を当て眺め上げる 北信越 ○ 事+頭から案 ※「事件」「事例」の元 東海 ● 事 + 案 近畿 ○ 事+案 中国 ● じ指文字+案 四国 ○ Lは/案/ Rは/「事」/ 九州 ● 指文字「ジ」+手話「案」	合成	<ジ>+<案>か、<事>+<案>か？ →<事件>や<事故>等は、左手で<事>の手話を使う。 →<事案>も同様に<事>+<案>とした方が良い。 ⇒<事>+<案>(合成) ※関東班の案を採用		
12	懸案 前から問題になっていながら、まだ解決されていない事柄。 (例:「懸案事項」「年々の懸案」など)		北海道 東北 ● 「邪魔」+「案」 関東 ● 「なかなか」+「直ぐ・早急に」 北信越 ○ 決められない回す+頭から案 東海 ● 繰り返す + 案 近畿 ア まだ+案 中国 ● まだ+案 四国 ● 問題 そのまま 九州 ● 手話「ひっかかる」+手話「心配」	ラベル追加	“まだ解決されていない事柄” →これに対応して、ろう者の間でよく使われる表現は<持て余す・宙に浮く> ⇒<持て余す・宙に浮く>にラベル追加		
13	勘案 あれこれ考え合わせること。 (例:「これらを総合的に勘案し、デフレから脱却させる」など)		北海道 東北 ○ 左手5指を右手でまとめ上げる+「案」 関東 ● 右手で「案」。続いて左手で「案」 北信越 ○ 左が上、右が下そして中央に合わす+頭から案 東海 ● 合わせ積み重ね + 案 近畿 ◎ 積み重ね+案 中国 ● まとめる+案 四国 ● R/考え/ + R L 上に重ね合わせていく様 九州 △ 手話「調整する」	保存手話	意味的に、<案>の手話を使うのはそぐわない。 →ろう者の間で使われる表現は何か？ →①<考える>+<引き出す>、②<考える>+中央に向けて、盛るように両手交互に動かす。③<色々>+<考える>、④<総合>+<考える> →このうちふさわしいのはどれか？多数決。 →②に決定。 ⇒<考える>+中央に向けて、盛るように両手を交互に動かす。 ※近畿班・四国班の案を採用		

14	検索	①刑事訴訟で、特別の知識・経験のある者が行う鑑定。形跡や状況などを調べること。 ②医師の診察を受けずに死亡した者の死体について、死亡事実を医学的に確認すること。 (例:「死体検案書」など)	北海道 東北 ● 「調べる」+「案」 関東 ● 「調べる」+左掌に右手親指の腹を付ける。 CF. 検案書:「検案」+両手人差指で四角を描く(書類) 北信越 ○ 確認+頭から案 東海 ● 調べる+案 近畿 ア 調べる+印鑑を押す 中国 ● 検+案 四国 ◎ Lは拳を作り それに向けて Rは「調べる」 九州 ア 手話「調べる」の指先を相手に向ける。	組み合わせ	これも、意味的に<案>の手話を使うのはそぐわない。 →意味的には「調べる」ということ。 →検案の「検」は漢字通りとし、検察の表現を用いる。 ⇒<検察・検察官>+<調べる> →合わせて、関連する用語についても検討した。 ⇒<死ぬC>+<死体>+<遺体B>+<検視>追加
15	案ずるより産むがやすし	お産する前は本人も周囲の人も色々心配することが多いが、終わってみると案外たやすく済んでしまうものであるということ。 出産に限らず、物事は事前にあれこれ思い悩むよりも、実際はそれほど難しくないとということ。	北海道 東北 保 右手拳(爪のある面)を額にあてる 関東 ○ 保留 北信越 ○ 考える+意外+大丈夫 東海 保 案外+簡単 近畿 保 意外+簡単 中国 ● 考える+意外+簡単 四国 保 /考える/ + /外れる/ + /簡単/ 九州 ● 手話「心配」+手話「本書」+手話「簡単」	組み合わせ	保存手話で「拍子抜け」といったような意味で使われる表現がある。(握りこぶしにあってる) →しかし、「案ずるよりも産むが易し」は、成功する意味合いがある。 →意外とたやすくできた。という意味では、<意外>+<簡単> ⇒<意外A>+<簡単・平易> ※東海班・近畿班・中国班の案を採用
36	絶景	ほかにたとえようもない、すばらしい景色。 (例:「天下の絶景」「こより眺望できる景色は絶景だ」など)	北海道 東北 ● 「最高」+「景色」 関東 ● 「景色」+「最高」 北信越 ○ 最高+眺め 東海 ● 最高+景色 近畿 ア 景色+すばらしいをアレンジ 中国 ● 素晴らしい+眺め 四国 ● /景色/ + /素晴らしい/ 九州 ● 手話「最高」+手話「景色」	組み合わせ	<景色>+<最高>か、<最高>+<景色>。 →ろう者がよく使うのは、<景色>+<最高> ⇒<景色>+<最高> ※関東班の案を採用
37	乗組員・乗務員	船や航空機に乗り組んで船内や機内の仕事をすする人。運転士・車掌・操縦士・スチュワーデスなど。 (例:「漁船の乗組員」「客室乗務員」など)	北海道 東北 △ 「スタッフ」と同じ 関東 ● 「飛行機/バス... (該当する乗物を表現)」+「仕事」+右手人差指を乗物の向きで回す 北信越 ○ 乗り物+スタッフ 東海 ● 乗る+仕事+員 近畿 ● α+仕事+員 (α:船、電車とか) 中国 ● 乗る+仕事+員 四国 ● 船あるいは飛行機 の形に①②を乗せ + /人々/ 九州 ● 乗組員・手話「船」+手話「員」、乗務員・手話「飛行機」+手話「員」	アレンジ	全ての乗物に使えるよう、船や飛行機などに特定せず、左手掌を乗物に見立てる →「員」の手話も、幅広く使うことを考えると、<スタッフ>が適している。 ⇒左手掌に右手2指を乗せて同時に前に出す+<スタッフ> ※北信越班の案を採用
38	テーマパーク (theme park)	特定のテーマに基づいて、施設・イベント・景観などが総合的に構成され演出されたレジャーランド。東京ディズニーランド開園を機に、遊園地と区別されるようになった。	北海道 東北 ア 両掌で「遊ぶ」の動き+「場所」 関東 ア 「遊ぶ」+両手2指を向い合わせて広めに置く(決められた場所を示す) 北信越 ○ テーマ+場所(6つ)を回す 東海 ● テーマ + 原 近畿 ● テーマ+遊園地 中国 四国 ● /テーマ/ + /場所/で円を描く 九州 ア 手話「遊園地」の手話の「場所」を3回繰り返す。	組み合わせ	「テーマパーク」の意味が分かる人は多い。 ⇒<テーマ>+(左手は残して)<場所>(公園)の右手) ※北信越班・四国班の案を採用
39	バックパッカー (backpacker)	低予算で国外を個人旅行する旅行者のことを指して使われてきた言葉である。 バックパック(リュックサック)を背負って移動する者が多いことから、この名がある。	北海道 東北 ア 「リュック」+人差し指で3度程前に進む 関東 ア 両手の5指を曲げて左右の肩から胸へ同時に下ろす(リュックの肩紐)+「旅行」+男(女) 北信越 ○ リック+旅行 東海 ● 背負う+旅行者 近畿 ア 観光+リュックを片手で背負う 中国 ● リュック+旅行+者 四国 ◎ /リュック/ + 車輪のイメージ 九州 ● 手話「リュック」+手話「歩く」	組み合わせ	バックパックを背負って旅行する人のこと。 ⇒バックパックを背負う仕草+<旅行>+左手残して、右手<人々> ※関東班・東海班・中国班の案を採用
40	搭乗口	主に飛行機などの乗り物に乗り込む際に使う、一機ごとに空港内に割り当てられた出入り口のこと。	北海道 東北 ● 「乗る」+「口」 関東 ◎ 左手で指先を下に向けて指文字「C」。その隣に右手で「飛行機/バス/船... (該当する乗物を表現)」 北信越 ○ 乗る+開く 東海 ● 乗る+口 近畿 ● 飛行機+扉を開ける 中国 四国 ◎ /飛行機/ + ゲートを作って横に置く 九州 ア 左手手話「飛行機」に右手で「ドア」の様子。	創作手話	主に、飛行機に乗る時に使われる言葉。 →<飛行機>の手話は必要。 →最近では、Eチケットを用いて、電車の改札のようにゲートが開く形が主流。 ⇒左手<飛行機>+右手<開場>(合成) →合わせて、関連する用語についても検討した。 ⇒<出入口>+<改札口>追加
41	ユーレイルパス (Eurailpass)	ユーレイル:ヨーロッパを鉄道で楽しく快適に旅するための手段。 ユーレイルパス:ヨーロッパ28カ国を周遊できる鉄道用均一乗車券。ヨーロッパ各国の国鉄と特定の私鉄の特急・急行の一等車が利用できる。	北海道 東北 ア 「ヨーロッパ」(少し大きめに回す)+「パス」 関東 ア 「ヨーロッパ」+片手で「電車」+両手の2指を折り曲げて向い合せカードを表す 北信越 ○ ヨーロッパ+切符 東海 ○ 左手で「e」、左手の下で、右手「電車」+切符 近畿 ア ヨーロッパ+定期券を出す様子 中国 ● ヨーロッパ+汽車+チケット 四国 ◎ /ヨーロッパ/ を回し、/切符/を合体させる 九州 ● 左手指文字「E」+右手手話「旅行」+手話「パス」	組み合わせ	平たく言えば、「ヨーロッパを旅行するときに使うパスポートのようなもの」 ⇒<ヨーロッパ>+<旅行>+<パスポート>の2動作目
42	ヒッチハイク	通りがかりの自動車に無料で乗せてもらって続ける旅行。 ヒッチ:カギやロープなどを「引っ掛ける」の意味 ハイク:歩く	北海道 東北 保 ボードを見せる仕草+親指を立てて動かす 関東 ◎ 左手親指を立ててやや上に出し、その下で右手「車」を縦回通させ 北信越 ◎ 状況と同じ 東海 ● 親指を立て、車+乗る 近畿 ◎ カード+親指を立てる 中国 ● 車+グッドの形 四国 ◎ ⑤を立て車を停める様子 + /車/ 九州 ◎ 左手親指を立てる。+右手手話「停車」	創作手話	これは、イメージ通りの表現になる。 ⇒行き先を書いた紙を両手で持つ動作+左手そのまま、右手親指を2回小さく振る。 ※東北班・近畿班の案を採用
43	EDカード	“Embarkation Disembarkation Card”の略称。 外国人が、その国に入学またはその国から出国する際に、提出を義務づけられる用紙。 氏名、国籍、国内滞在中の住所などを記入する。	北海道 東北 ● 「E」「D」+「カード」 関東 ● 指文字「E」「D」+両手人差指で四角を描く(カード) 北信越 ○ ローマ指文字「D」「E」+四角(空書き) 東海 ● 日本の指文字 E+D + カード 近畿 ◎ 出入り+カード 中国 ● 印+カード 四国 ● E D + /カード/ 九州 x イメージできません。	組み合わせ	これは、文字通りそのままの表現になる。 ⇒(日本式指文字)<E>+<D>+<カード> ※東北班・関東班・北信越班・東海班・中国班・四国班の案を採用
44	グランクラス	東北・北海道新幹線と北陸新幹線で提供されている特別車両である。 グリーン車よりもさらに上位の座席とサービスを提供する車両という位置づけで、航空機のファーストクラスやかつての国鉄の三等級制時代の一等車に相当する。	北海道 東北 ● 「最高」+「席」 関東 ● 「最高」+「席」 北信越 ○ 最高+席 東海 ● 日本の指文字 G+階級 近畿 ● 最高+席 中国 ● 高級+立派+乗る 四国 ア /最高/ のRをさらに上に持っていき + /席/ 九州 x すみません。北海道班に任せます。	組み合わせ	一部の新幹線で提供されている「最高の席」である。 ⇒<最高>+<席> ※東北班・関東班・北信越班・近畿班・四国班の案を採用
45	路線図	路線: ①自動車・鉄道・航空機が運行される経路を線として表示したもの。海上運送では航路という。 ②始点から経過地を通り終点にいたる道路の位置を示す線。 ③政党などの掲げる運動の方向。(例:「反核平和路線」など) 路線図: 鉄道・バスや道路、送電線等の路線・施設(停留所等)の接続・配置関係を相対的に示した図表。	北海道 東北 ○ 「口」で「マップ」 関東 ◎ 両手人差指で四角を描く(地図の輪郭)。その中に両手人差指で複雑に線を描く(入り組んだ路線を表す) 北信越 ○ 交通+地図 東海 ◎ 左右に両手を開き、四角を描く(図) 近畿 ● 電車+地図 中国 ● 方向+地図 四国 ● L拳から、R五指を開いて上に出す + /紙/ 九州 ● 手話「交通」+手話「地図」	組み合わせ	鉄道やバスなど、交通機関を用いる際に必要な地図である。 ⇒<交通機関>の1動作目+<地図> ※北信越班・近畿班の案を採用
46	聖地	①神・仏・聖人や宗教の発祥などに関係が深く、神聖視されている土地のこと。 (例:「聖地エルサレム」「聖地巡礼」など) ②特定の分野において重要な場所。あこがれの場所。 (例:「高校球児の聖地甲子園」) 転じて小説やアニメ、ゲームなどの舞台となった土地もそう呼ばれることがある。	北海道 東北 ● 「憧れ(希望)」+「場所」 関東 ● 「特別」+「大切」+「場所」 北信越 ○ 尊敬+場所 東海 ● 理想 + 場所 近畿 ● 神+場所 中国 ● 貴重+場所 四国 ◎ /場所/ Sを描くように斜め上にゆっくり移動 九州 ● 手話「尊重」+手話「場所」	組み合わせ	とても大事な場所である。 →<大事>+<場所>や、<憧れ>+<場所>では、弱い。 →敬意や、崇拜の念が入る。 ⇒<崇める>(頭を下げながら<尊敬>)+<場所> ※北信越班・近畿班の案を採用

47	焼き芋	焼いたさつまいも。特に、さつまいもを加熱した小石に埋めて焼いた石焼きいも。	北海道			保 保存手話	これは保存手話がある。 ⇒焼き芋を折る動作+<さつまいも> ※東北班(2動作目)・東海班(2動作目)・九州班(2動作目)を採用
			東北	保	「焼く」+芋を割る仕草		
			関東	●	「煮る」(焼く)+「サツマイモ」		
			北信越	ア	焼きながら割れる		
			東海	●	焼く + 芋を割る仕草		
			近畿	ア	さつまいもを揺る様子		
			中国	●	焼き+イモ		
			四国	◎	包み込む動作 + /芋/		
			九州	●	手話「焼く」+芋を折る仕草。		
48	目敏い	① 見つけるのがすばやい。目が早い。(例:「目敏く見つける」など) ② わずかの物音などで目がすぐさめる。(例:「老人は目敏い」など)	北海道			ア アレンジ	各班からの案のなかで最も適しているのは、四国班の<見つけた>(素早く)。 ⇒<見つけた>(素早く)。 ※中国班・四国班・九州班の案を採用
			東北	保	数字「6」の形を目に近づけ、引き金を引く仕草		
			関東	保	人差し指で眼を指して、前に向かって「すぐ」		
			北信越	◎	目敏い(両手)		
			東海	●	目に素早く「取る」		
			近畿	保			
			中国	△	①鋭い		
			四国	ア	すばやく/見る/表現をする		
			九州	保	二指を曲げた右手を目の前から斜め上へ上げる。(九州地方で使う)		
49	ゼリー	①ゼラチンを溶かし、砂糖・香料を加え、型に流し込んで固めた菓子。 ②くだものの汁に砂糖を加えて煮詰めた食品。	北海道			○ 合成	プリンと似ながらも、やや異なるのがゼリー。 →プリンと分かりやすく違うのが、柔らかさ(プリンは崩れるが、ゼリーは崩れにくい) ⇒左手掌の上で右手<柔らかい> ※北信越班の案を採用
			東北	●	左手「ゼ」右手で「プリン」		
			関東	●	両手の親指と4指の指先を向い合せ、指を柔らかく交互に上下させる(柔らかい)+「プリン」		
			北信越	◎	プリンと似たような上下ぶるぶる		
			東海	●	指文字「ゼ」+プリン		
			近畿	ア	指文字の「ゼ」+「プリン」		
			中国	●	ゼ 指文字+プリン		
			四国	●	/ジュース/ + /プリン/		
			九州	●	指文字「J」+手話「プリン」(但し、揺らさない)		